会員サイト「CLUB Panasonic」で
「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

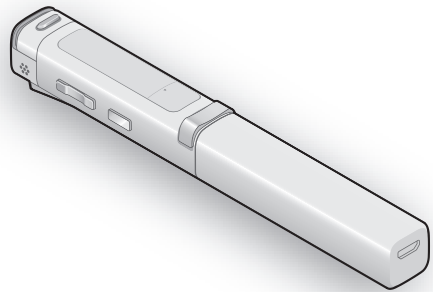
携帯

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

Panasonic

取扱説明書
IC レコーダー

品番 **RR-XP007**



保証書付き

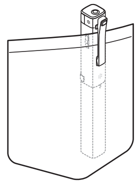
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」**（P29 ～ 31）**を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
準備
基本操作
応用操作
パソコンと接続
その他

VQT5C58-2
M0813KZ2034

本機の特長



スティックタイプのレコーダー

クリップ付きなので胸ポケットに入れたままスマートに録音できます。

高音質録音

PCM（リニア PCM）で CD にせまる高音質の録音ができます。

録音シーンに合わせて簡単録音

録音シーンを選ぶだけで、そのシーンにぴったりの録音設定になります。

「リピート 学習」設定で繰り返し再生

重要ポイントだけを繰り返すインデックスリピートや、語学学習に便利なシャドーイング再生など､いろいろな使い方ができます。

- シャドーイングを体験するための練習用コンテンツを用意しております。詳しくは P28 をご覧ください。

音質効果で再生音を聞き取りやすく

ノイズを軽減する「ノイズキャンセル」や、録音レベルの差による音量差を少なくする「音声レベル自動調整（SLC)」で目的の音が聞き取りやすくなります。

オートパワーオフ機能

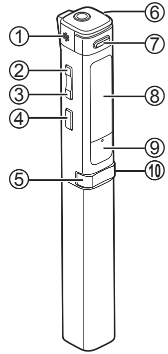
停止状態で一定時間が経過すると自動的に電源が切れ、電池の節約になります。（P19）

付属品の確認

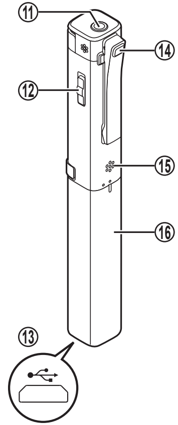
□単 4 形アルカリ乾電池（1 本）
□USB 接続ケーブル【K1HY09YY0015】（1 本）

● かっこ【　】内は、2013 年 8 月現在の品番です。
● 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
● 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

各部の名前



① 内蔵マイク（左）
② 音量ボタン（＋）
③ 音量ボタン（−）
④ メニューボタン
⑤ ⏮ ボタン（早戻し）
⑥ 内蔵マイク（右）
⑦ 録音 / 動作表示ランプ
　 録音スイッチ（● 録音開始 / ■ 録音停止）
⑧ 表示部
⑨ ▶/■ OK ボタン（再生開始 / 再生停止）
⑩ ⏭ ボタン（早送り）



⑪ ヘッドホン端子（Ω）
- ヘッドホンやインサイドホンなどを接続します。

⑫ 電源 / ホールドスイッチ
⑬ USB 端子
⑭ クリップ
- 上部をつまむとクリップが開きます。

⑮ 内蔵スピーカー
⑯ 電池カバー

電池カバーを外すには

カバーを左方向に少しひねって引き抜きます。
（「電池を入れる」P4）

- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（P29 ～ 31）

準備

基本操作

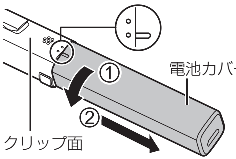
応用操作

パソコンと接続

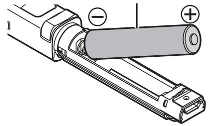
その他

電池を入れる

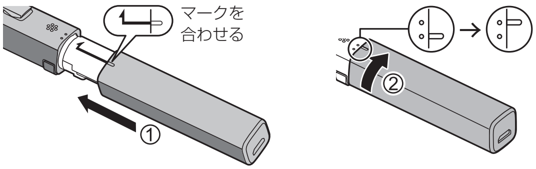
❶ 電池カバーを外す
・矢印方向にひねってカバーを抜く。



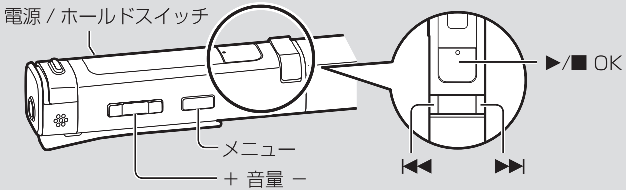
❷ 表示部のある面を上にして、電池を入れる



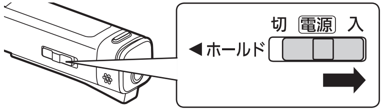
❸ クリップ面を上にして、電池カバーを元どおりに取り付ける
・マークの位置を合わせて差し込み、ひねる。



● 付属または市販の単 4 形アルカリ乾電池（1 本）をお使いください。
● 別売の充電式電池もお使いになれます。必ず指定の充電式電池をお買い求めください。（P20）
● 長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
● USB 接続ケーブルを差し込んだまま、電池カバーを外さないでください。



電源を入れる / 切る

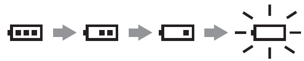


電源 / ホールドスイッチを［入］側に動かす
・電源が入り、表示部が点灯します。

初めて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P5）

■電源を切るには
停止中に、電源 / ホールドスイッチを［切］側に動かす。

電池の残量表示について



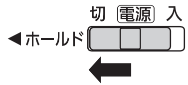
点滅（電池残量無し）
・お早めに電池を交換してください。

● 時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておき、交換は約 1 分以内に行ってください。
● 点滅のまま使用を続けると、動作の途中で急に電源が切れることがあります。
● ファイル消去(P7)、インデックス消去(P11)、ファイル分割(P15)、フォーマット（P19）の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が“▭”（点滅）のときにこれらの操作を実行すると電池切れで電源が切れます。
● **電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
・データが失われることや本機の故障につながることがあります。

ホールド機能

操作を受け付けなくなり、誤操作による録音や再生の中断を防ぐことができます。

■ホールドにするには



録音または再生中に、電源 / ホールドスイッチを［ホールド］側に動かす。（“ホールド設定”表示）
・ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

■“ホールド設定”と表示され、操作できないとき



ホールド中です。電源 / ホールドスイッチを［ホールド］と反対側に動かし、ホールドを解除してからもう一度操作してください。

時計を合わせる

お買い上げ時、本機の時計は設定されていません。
時計はファイル名（P21）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。時計設定されていない状態で電源を入れると、手順 ❹ の画面が表示されます。

・電源を入れておく。（P4）

❶ ［メニュー］を押す



❷ ⏮、⏭ で“共通設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸ ⏮、⏭ で“時計設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❹ ⏮、⏭ で年を設定し、［▶/■ OK］を押す
右記イラストは表示例です。



❺ 手順 ❹ と同様に月、日、時を設定する
・時計は 24 時間表示です。
・＋、－で項目を移動し、⏮、⏭ で設定を変更できます。



❻ ⏮、⏭ で分を設定し、［▶/■ OK］で決定する
日時が設定され、時計動作を開始します。

設定中にひとつ前の画面（時計設定中は ❸）に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● 停止中の画面で現在時刻を確認できます。（「情報を確認する」P7）
● 時計精度は、室温で月差約± 60 秒です。
● 電池が消耗し切った状態になると、時計動作は停止します。

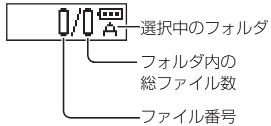
ファイルとフォルダについて

本機は録音開始から停止するまでを 1 つの「ファイル」として保存します。「フォルダ」とはファイルを保存しておく場所です。本機の内蔵メモリー内には以下のフォルダがあります。

■録音用フォルダ

A、B、C、D、E の 5 つの録音用フォルダがあります。録音の目的別にフォルダを使い分けると、あとで探すときに便利です。フォルダごとに最大 199 ファイルまで録音できます。

停止中の画面



■音楽用フォルダ（M）

このフォルダにお手持ちの音楽ファイルを転送すると、本機で音楽を楽しむことができます。ファイルの転送は、本機とパソコンを接続して行います。（P20、21）

フォルダを選択する

❶ 停止中に［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“フォルダ選択”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸ ⏮、⏭ で フォルダを選び、［▶/■ OK］で決定する
・録音するときは“A、B、C、D、E”のいずれかを選びます。
・音楽用フォルダ（M）を選んで音楽ファイルの再生を楽しむには、P16 をご覧ください。



“B”を選んだ場合

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

オートパワーオフについて
停止状態で一定時間（お買い上げ時は 15 分）経過すると自動的に電源が切れます。（P19）その後本機を使うときは、電源 / ホールドスイッチを［切］側に動かしてから電源を入れ直してください。

録音する

・電源を入れておく。(P4)
・録音スイッチが［●］側で本機が停止しているときは、[■］側に動かしておく。

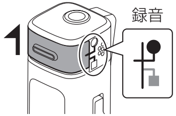
❶ 録音先のフォルダを選ぶ（P5）

・“A､B､C､D､E” から選んでください。(お買い上げ時は “A”)
・“M”（音楽）を選んでいるときは、“A”フォルダに録音されます。

❷ 録音スイッチを［●］側に動かす

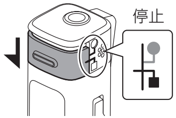
・録音 / 動作表示ランプが点灯し、録音が始まります。





❸ 停止するには、録音スイッチを［■］側に動かす

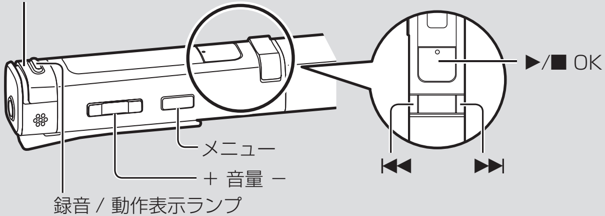
停止状態になります。
・[▶/■ OK］を押しても録音は停止しません。



● 以下のような場合、録音スイッチを動かしても働きません。

・電源が切れていませんか？→電源を入れてください。(P4)
・ホールド中ではありませんか？→ホールドを解除してください。(P4)
・再生中ではありませんか？→停止してください。(P7)
・メニュー操作中ですか？→メニュー画面を閉じてください。([メニュー］を約 1 秒以上押したままにする)

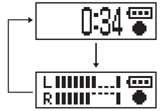
その後、操作をやり直してください。



録音中の表示を切り替える

❶ 録音中に［メニュー］を押す

・押すたびに表示が変わります。



録音経過時間

レベルメーター
・入力レベルをステレオ（L/R）で表示します

上手に録音するために

本機は高感度マイクを搭載しているため、マイクに直接当たった息や風が風切り音として録音され、音声が聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当たらない状態にすると改善できます。



2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。



ローカットフィルタ（P9）を ON にすると低い周波数の音をカットするので、風切り音を軽減できる場合があります。

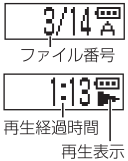
● 必要に応じて録音モードやマイク感度を変更してください。(P9)
● 録音シーンに対応したおすすめの録音設定を一括で呼び出せる録音シーン機能があります。(P8)
● 録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。
● **録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。 お気をつけください。**
● やり直しのできない大切な録音をするときは、試し録音しておくことをおすすめします。
● 内蔵メモリーの使用状況によっては、録音時（特に PCM 録音時）に音とびが発生することがあります。一度フォーマット（P19）してから録音することをおすすめします。

再生する

・フォルダを選んでおく。（P5）

❶ 停止中に ⏮、⏭ を押してファイルを選ぶ

❷［▶/■ OK］を押す
・再生が始まります。



■停止するには

再生中に［▶/■ OK］を押す。
・“A、B、C、D、E”フォルダでは、最後に再生したファイルとその停止位置をフォルダごとに記憶しています。

情報を確認する

❶ 停止中に［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする

❷ ⏮、⏭ を押して情報画面を切り替える



※1 “M”（音楽）フォルダでは表示されません。
※2 録音残り時間が 100 時間を超えるときは、“時間 : 分 : 秒”の“時間”部分が点滅します。
※3 “A、B、C、D、E”フォルダでは「本機で録音したファイル名の付き方」（P21）に従ったファイル名が表示されます。

❸ 元の画面に戻るには、［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする

音量を調整する

❶ ＋（大きく）または－（小さく）を押す

0 から 20 までの間で調整できます。（お買い上げ時は“10”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れたとき、音量は 16 に設定されます。

ファイルをとび越す（スキップ）

❶ ⏮、⏭ を押す

ファイルの途中で ⏮ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。再生中に、前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 2 秒以内に ⏮ を押します。
・インデックスのあるファイルのスキップ操作については P11 をご覧ください。

早戻し／早送りする（サーチ）

❶ 再生中に ⏮、⏭ を押したままにする

ファイルを消去する

消去すると元に戻すことはできません。

・消去したいファイルを選んでおく。（左記「再生する」の手順 ❶）

❶ 停止中に［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“✂ファイル編集”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸ ⏮、⏭ で“ファイル消去”を選び、［▶/■ OK］で決定する
・“フォルダ消去”を選ぶと、選択中のフォルダ内の全ファイルを消去します。



❹ ⏮、⏭ で“実行”を選び、［▶/■ OK］で決定する
消去中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。消去が終わると“完了”が表示されたあと、元の画面に戻ります。
・完了までに数分かかる場合があります。



操作中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。操作を取り消して元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● ファイル消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。（P21）
● パソコンから転送した読み取り専用の MP3 音楽ファイルや本機で再生できないファイル、パソコンで作成した“M”（音楽）フォルダのサブフォルダ（P22）は、本機では消去できません。パソコンで削除してください。

録音シーンを選択する（録音シーンセレクト）

本機には録音シーンごとにおすすめの録音設定があり、録音シーンを選ぶことで、その場に適した設定で簡単に録音できます。

❶ 停止中に［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“録音設定”を選び、[▶/■ OK］で決定する

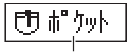


❸ ⏮、⏭ で“録音シーン”を選び、[▶/■ OK］で決定する



現在の設定

❹ ⏮、⏭ で録音シーンの種類を選び、[▶/■ OK］で決定する（お買い上げ時は“ユーザー”）

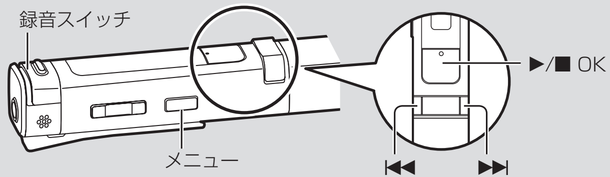


“ポケット”を選んだ場合

録音シーン	用途
ポケット	ポケットに入れたまま録音するときに。
会話	インタビューや会話の録音に。
会議	広い帯域の録音、会議室での録音に。
講義	教室での講義の録音に。
ステージ	楽器演奏など高音質な録音に。
ユーザー	好みの設定で録音したいとき。

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

録音スイッチを［●］側に動かすと、選択した録音シーンの設定で録音されます。



録音シーンごとの設定内容

設定 / 録音シーン	録音モード（P9）	マイク感度（P9）	ローカットフィルタ（P9）	音質効果（P10）	VOS 設定（P10）
ポケット	MP3 192 kbps	高	ON	ノイズキャンセル	OFF
会話	MP3 128 kbps	高	ON	OFF	OFF
会議	MP3 192 kbps	高	OFF	OFF	OFF
講義	MP3 192 kbps	高	ON	OFF	OFF
ステージ	PCM 44.1 kHz	高	OFF	ステレオ強調	OFF
ユーザー	“録音設定”（P9、10）で設定した内容になります。				

- “ポケット”を選び、ポケットに入れたまま録音するときは、本機が動かないようクリップで固定しておくことをおすすめします。固定せずに使うと、こすれ音が雑音として録音されてしまうことがあります。
- 録音シーンの設定内容は、“録音設定”メニューの画面で確認することができます。（P9、10）
- 録音シーンを選んだあと、録音モード（P9）などの設定を個別に変更することもできます。変更した状態は“ユーザー”として記憶され、録音シーンから呼び出すことができます。以前と同じ設定で録音したいときなどに便利です。
- “ユーザー”は、最後に設定した内容で上書き記憶されます。

録音モードを選択する

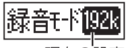
録音モードを変更することで、より長時間またはより高音質での録音が可能になります。用途や目的に応じて選んでください。

❶停止中に［メニュー］を押す

❷⏮、⏭で“🎙録音設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸⏮、⏭で“録音モード”を選び、［▶/■ OK］で決定する



現在の設定

❹⏮、⏭で設定を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は「MP3 192 kbps」）



設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● 録音モードの設定によって音質と録音時間（P28）が変わります。

	高音質 ←			→ 長時間
録音モード	PCM 44.1 kHz (ステレオ録音)	MP3 192 kbps (ステレオ録音)	MP3 128 kbps (ステレオ録音)	MP3 32 kbps (モノラル録音)	MP3 8 kbps (モノラル録音)

マイク感度を切り替える

音源の音量に応じてマイク感度を切り替えてください。音源の音量が大きい場合は感度を「低」に、音量が小さい場合は感度を「高」に設定します。

❶停止中に［メニュー］を押す

❷⏮、⏭で“🎙録音設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸⏮、⏭で“マイク感度”を選び、［▶/■ OK］で決定する



現在の設定

❹⏮、⏭で“高”または“低”を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“高”）



設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

録音中に低域ノイズを抑える（ローカットフィルタ）

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。録音中に空調設備の音などが気になる場合に効果的です。

❶停止中に［メニュー］を押す

❷⏮、⏭で“🎙録音設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸⏮、⏭で“ローカットフィルタ”を選び、［▶/■ OK］で決定する



現在の設定

❹⏮、⏭で“ON”を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）



設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

音質効果を加えて録音する

❶停止中に［メニュー］を押す

❷⏮、⏭で“🎤録音設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸⏮、⏭で“音質効果”を選び、［▶/■ OK］で決定する



現在の設定

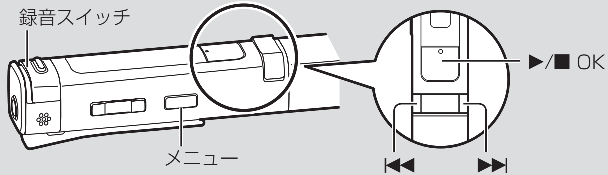
❹⏮、⏭で設定を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）



設定		効果と用途
OFF		音質効果を加えずに録音します。
ST	ステレオ強調	ステレオ感を強調します。
NC	ノイズキャンセル	録音時のノイズを軽減します。

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● 録音モード「MP3 32 kbps」、「MP3 8 kbps」はモノラル録音のため、ステレオ強調が働きません。



無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）

VOS（Voice Operation System）を設定すると、マイク録音中に無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止します。音声を感知すると再び録音を開始します。

❶停止中に［メニュー］を押す

❷⏮、⏭で“🎤録音設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸⏮、⏭で“VOS 設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



現在の設定

❹⏮、⏭で“ON”を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）



設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

■VOS 録音を開始するには

録音スイッチを［●］側に動かす。

録音中



VOS 録音一時停止中



点滅

■VOS 動作レベルを調整するには

VOS 録音中に ⏮、⏭ を押す。



● 1 ～ 5 段階で調整できます。（お買い上げ時は“3”）
● 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。

● 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF にしてください。小さな音が録音されないことがあります。
● ローカットフィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、ローカットフィルタを OFF にしてください。（P9）

インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作でその位置にとび越すことができます。

インデックスを付ける



マーク、番号

❶ **録音または再生中、インデックスを付けたい位置で［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする**

・インデックスマークとインデックス番号が約 2 秒間表示されます。
・［メニュー］を押し始めた位置にインデックスが付きます。

インデックスがあるファイルのスキップ操作について

■前後のインデックス位置にとび越すには



停止または再生中に |◀◀、▶▶| を押す。
・インデックスマークとインデックス番号が約 2 秒間表示されます。

■インデックス位置で止まらずに前後のファイルにとび越すには

停止中に |◀◀、▶▶| を約 1 秒以上押したままにする。

インデックスを消去する

インデックスを 1 件ずつ、またはファイル内のインデックスをまとめて消去できます。

・インデックスを消去したいファイルを選び、停止させる。
・インデックスを 1 件ずつ消去する場合は、消去したいインデックスの後ろで停止させる。

❶ **停止中に［メニュー］を押す**



❷ **|◀◀、▶▶| で“ファイル編集”を選び、［▶/■ OK］で決定する**




❸ **|◀◀、▶▶| で“インデックス 1 件消去”または“インデックス全消去”を選び、［▶/■ OK］で決定する**



❹ **|◀◀、▶▶| で“実行”を選び、［▶/■ OK］で決定する**

消去中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。消去が終わると“完了”が表示されたあと、元の画面に戻ります。
・“インデックス 1 件消去”では、停止位置の直前にあるインデックスが消去されます。
・“インデックス全消去”では、ファイル内の全インデックスが消去されます。

操作中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。操作を取り消して元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● インデックスは、
・1 ファイルにつき最大 36 か所付けることができます。
・ファイルの先頭や終端、他のインデックスとの間隔が短い（約 2 秒以下）位置には付けることができません。

● 再生時、インデックスポイントの後ろ約 2 秒未満の位置で |◀◀ を押しても、そのポイントには止まりません。

● 本機以外でインデックスを付けたファイルは、再生中のスキップ操作で正しい位置にとび越せない場合があります。

● “M”（音楽）フォルダの音楽ファイルにインデックスを付けることもできます。ただし、ファイル名が同じで拡張子だけが異なる音楽ファイルがあると、正しいインデックス位置にとび越せない場合があります。（Track01.MP3 と Track01.WAV が同一フォルダ内にあるときなど）

応用操作

一定の間隔でスキップする（タイムスキップ）

再生時のスキップ操作（P7、11）で、設定された時間をとび越す機能です。短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりするときに便利です。

スキップ間隔を設定する

❶ **再生または停止中に［メニュー］を押す**
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ **⏮、⏭ で“▶ 再生設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する**
▶再生設定

❸ **⏮、⏭ で“タイムスキップ”を選び、［▶/■ OK］で決定する**
ﾀｲﾑｽｷｯﾌﾟ OFF
現在の設定

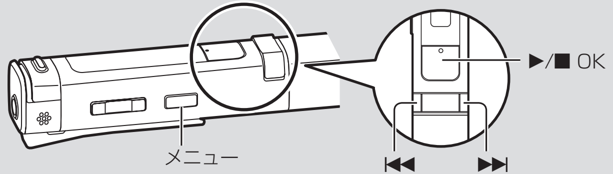
❹ **⏮、⏭ でスキップ間隔を選び、［▶/■ OK］で決定する**
5秒
- スキップ間隔は、5 秒、10 秒、1 分、10 分、OFF（タイムスキップしない）から選択できます。（お買い上げ時は“OFF”）

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

タイムスキップする

❶ **再生中に ⏮、⏭ を押す**
押すたびに、設定した間隔でスキップします。

● 設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭や終端、インデックスポイントがある場合は、その位置にスキップします。



位置を指定して再生（時間サーチ）

再生開始位置を時間で指定し、そこから再生できます。長時間録音したファイルの再生などに便利です。

❶ **再生または停止中に［メニュー］を押す**
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ **⏮、⏭ で“▶ 再生設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する**
▶再生設定

❸ **⏮、⏭ で“時間サーチ”を選び、［▶/■ OK］で決定する**
時間ｻｰﾁ

❹ **再生開始位置を設定する**
00:01:05
＋、－で“00:00:00”（時間 : 分 : 秒）を選び、⏮、⏭ で数値を変更します。

❺ **［▶/■ OK］を押す**
指定した位置から再生されます。

操作中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。操作を取り消して元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● 時間サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生（リピート 学習）

❶ 再生または停止中に［メニュー］を押す
再生中の場合は手順 ❸ へ



❷ ⏮、⏭ で“▶ 再生設定”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸ ⏮、⏭ で“リピート学習”を選び、［▶/■ OK］で決定する



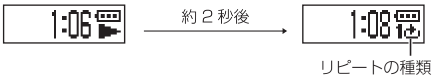
❹ ⏮、⏭ でリピート再生の種類（下記）を選び、［▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

OFF	1 つのフォルダ内の最終ファイルまで再生して停止します。
1 曲	1 つのファイルを繰り返して再生します。
フォルダ	1 つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。
インデックス	（右記）
シャドーイング	（P14）

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

■リピート再生中の画面

再生中の画面に、リピートの種類を示すマークが表示されます。



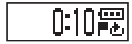
一部分だけ繰り返す（インデックスリピート）

隣り合うインデックス間を繰り返して再生します。聞きづらい部分や重要な部分を集中的に聞くときに便利です。

・繰り返したい位置の始点と終点にインデックスを付けておく。（P11）



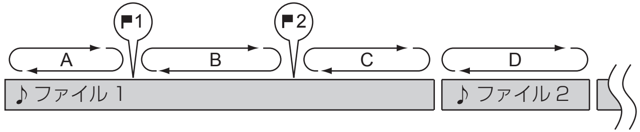
❶ “リピート学習” の設定で “インデックス” を選ぶ（左記）



❷ ［▶/■ OK］を押す
インデックス間を繰り返し再生します。

■インデックスリピートの動作例

例 1）“▶1”と“▶2”間で再生を始めたとき：B 区間を繰り返す。
例 2）“▶2”の後ろから再生したとき：C 区間を繰り返す。



インデックスリピート位置を移動する

今聞いている位置とは違う部分でインデックスリピートしたいときに便利です。

❶ 再生または停止中に ⏮、⏭ を押す
上の例では、⏭ を押すたびに、A → B → C → D 区間…とリピート位置が移動します。

● インデックスのないファイルでインデックスリピートを行うと、ファイル全体を繰り返し再生します。
● 極端に短い（約 1 秒未満）ファイルの場合、インデックスリピートで音が出ない場合があります。

シャドーイング再生

シャドーイングとは、音声を聞きながら、聞こえた音をほぼ同時に繰り返して言う学習方法です。本機のシャドーイング再生を使うと、インデックスリピート区間を通常音量と無音（お買い上げ時）で、交互に繰り返し再生します。語学学習などに便利です。



・繰り返したい位置の始点と終点にインデックスを付けておく。（P11）



❶ **“リピート学習”の設定で“シャドーイング”を選ぶ（P13）**



シャドーイングアイコン

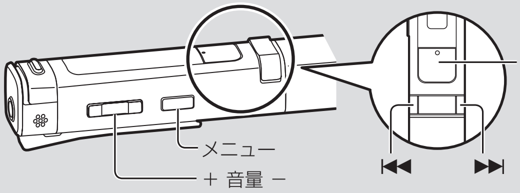
❷ **［▶/■ OK］を押す**

シャドーイング再生が始まります。

・通常音量で再生中はシャドーイングアイコンが点灯し、無音再生中は点滅します。

■シャドーイング再生位置を移動する

インデックスリピート位置の移動と同じように、シャドーイング再生位置の移動ができます。（P13）



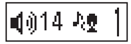
■シャドーイング再生の音量調整

通常再生部分と無音部分の音量を別々に調整できます。無音部分を小音量で再生し、音声の確認などに使うことができます。

通常再生部分の音量調整



無音部分の音量調整



● インデックスのないファイルでは、ファイル全体をシャドーイング再生します。
● 極端に短い（約 1 秒未満）ファイルの場合、シャドーイング再生で音が出ない場合があります。

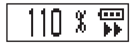
再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50%）から早聞き 2 倍速（200%）まで 21 段階で調整できます。

❶ **再生中に［▶/■ OK］を約 1 秒以上押したままにする**

再生速度変更画面になります。

❷ **|◀◀、▶▶| で再生速度を選ぶ**



1 倍速（100%）よりも速い場合は 10%ずつ、遅い場合は 5%ずつ調整できます。

❸ **［▶/■ OK］で決定する**



再生速度

再生中の画面に、再生速度を示すマークが表示されます。

▶：1 倍速（100%）再生中　　▶▶：早聞き再生中

|▶：遅聞き再生中

● 手順 ❷ の画面で［▶/■ OK］を約 1 秒以上押したままにすると、速度の変更を中止して 1 倍速再生に戻ります。
● 電源を切ると、再生速度は 1 倍速に戻ります。

シャドーイング再生と再生速度の変更を組み合わせて使う

お手本がよく聞き取れない場合は、再生速度を遅くしてみてください。シャドーイング再生中も再生速度を変更することができます。再生速度を速くしてお聞きになることもお試しください。学習の効率化や難易度のアップにもなります。

聞き取りやすくする / 好みの音質で再生する

マイク録音したファイルで、ノイズが多い場合や遠近による音量差が大きい場合に、目的の音声を聞き取りやすく再生できます。また、イコライザー（EQ) を選ぶと音楽ファイルなどを好みの音質で楽しめます。
音質効果は 1 つだけ選択できます。どれかの音質効果を設定すると、それ以外の音質効果は無効になります。

❶ 再生または停止中に［メニュー］を押す
再生中の場合は手順 ❸ へ

❷ ⏮、⏭ で“▶ 再生設定”を選び、[▶/■ OK］で決定する　▶再生設定

❸ ⏮、⏭ で“音質効果”を選び、[▶/■ OK］で決定する　音質効果 OFF
現在の設定

❹ ⏮、⏭ で設定を選び、[▶/■ OK］で決定する
（お買い上げ時は“OFF”）

設定		効果と用途
OFF		録音されたままの音で再生します。
NC	弱ノイズキャンセル（NC）	弱めにノイズを軽減します。
NC	強ノイズキャンセル（NC）	強めにノイズを軽減します。
SLC	音声レベル自動調整（SLC）	大音量部分と小音量部分の音量差が少なくなるように調整します。
EQ	EQ CLEAR※	高音域を強調した、はっきりとした音質になります。
EQ	EQ HEAVY※	低音域と高音域を強調した、迫力のある音質になります。
EQ	EQ VOICE※	雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。

※ EQ は、インサイドホンで聞いているときのみ有効です。

- NC (Noise Cancel)　・SLC (Sound Level Control)
- EQ (Equalizer)

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

- 音源によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 早聞き、遅聞き再生中は音質効果が働きません。
- パソコンから転送した音楽ファイルの再生で、ノイズキャンセルや音声レベル自動調整を使うと音がひずむ場合があります。

ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。

❶ 再生中にファイルを分割したい位置で［▶/■ OK］を押して、停止させる

❷［メニュー］を押す

❸ ⏮、⏭ で“✂ファイル編集”を選び、［▶/■ OK］で決定する　✂ファイル編集

❹ ⏮、⏭ で“ファイル分割”を選び、［▶/■ OK］で決定する　ファイル分割

❺ ⏮、⏭ で“実行”を選び、［▶/■ OK］で決定する　実行 取消
分割中は録音 / 動作表示ランプが点滅します。分割が終わると“完了”が表示されたあと、元の画面に戻ります。
・完了までに数分かかる場合があります。

操作中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。操作を取り消して元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

- “M”（音楽）フォルダ内のファイルは、分割できません。
- ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭または終端近くではファイルの分割ができません。
- ファイルを分割すると、分割位置の前後約 2 秒間のインデックスポイントは削除されます。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。（P21）
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。
- ファイル分割後のパソコン上でのファイル名については、「ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更」（P21）をご覧ください。

本機で音楽を聴く（MP3 音楽ファイル）

・パソコンから本機に音楽ファイルを転送しておく。（P21）

❶ 停止中に［メニュー］を押す

❷ ⏮、⏭ で“フォルダ選択”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❸ ⏮、⏭ で“音楽用 M”を選び、［▶/■ OK］で決定する



❹ ⏮、⏭ でファイルやサブフォルダを選び、［▶/■ OK］で決定する

・ファイルを選んだとき
選んだファイルから再生が始まります。



ファイル

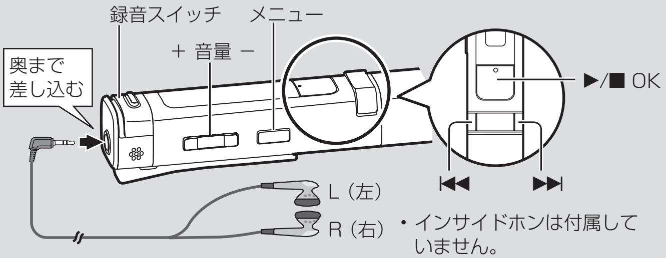
・サブフォルダを選んだとき
手順 ❹ を繰り返してファイルやサブフォルダを選んでください。（ファイルを選ぶと再生）



サブフォルダ

選択中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。選択を取り消して元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

● 再生操作については、P7 をご覧ください。
● フォルダ選択の操作で、選んだ“M”（音楽）フォルダやサブフォルダに音楽ファイルが 1 曲も入っていない場合は、"NO FILE" と表示して停止状態になります。



■停止するには

再生中に［▶/■ OK］を押す。

■“M”（音楽）フォルダが選択されているとき

［▶/■ OK］を押すだけで再生が始まります。
（前回の停止位置から再生）

ファイル名


M（音楽）フォルダ

● 選択中の“M”（音楽）フォルダやサブフォルダとは別のフォルダ内にある音楽ファイルを再生したいときは、もう一度手順 ❶ ～ ❹ を行ってください。
● MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ再生できます。
● "M"（音楽）フォルダでは、１つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。（「本機のフォルダ構造」P22）
● 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
● 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、インデックスリピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
● ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。
● 再生時間が 100 時間を超えるファイルの再生経過時間が 100 時間以上になると、“時間 : 分 : 秒”の“時間”部分が点滅します。

・MP3 : MPEG Layer-3 オーディオの略称で、音声圧縮規格の一種
・可変ビットレート : 音声圧縮時にビットレートを可変させる方式

インサイドホンで聴く

インサイドホン（市販または別売）を接続してください。
（プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ、インサイドホン推奨インピーダンス：16 Ω）

● インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

■録音中

録音中の音をモニターする（聞く）ことができます。

・録音中に音量を調整しても、録音レベルには影響しません。

■再生中

ステレオ録音したファイルをステレオ音声で聞くことができます。（ステレオインサイドホンの場合）

リモコン付きのステレオインサイドホンを使う

本機に対応したリモコン付きステレオインサイドホンを使うと、手元で再生や停止、スキップ操作ができます。（別売品：RP-TCM19）

● リモコンのマイクには対応していません。

■操作ボタンの使い方

1 回押す：再生、停止
2 回押す：次のファイルやインデックスにとび越す
3 回押す：前のファイルやインデックスにとび越す

● “M”（音楽）フォルダ内のファイルやサブフォルダは、リモコンで選択し決定することはできません。本機側の ⏮、⏭ でファイルやサブフォルダを選び、ファイルを［▶/■ OK］で決定し再生してください。（P16）
● 曲やファイルのとび越しについては P7、P11 もあわせてご覧ください。
● 別売品は 2013 年 8 月現在の品番です。

集音機能

本機のマイクで集音した音を強調、調整してインサイドホンで聞くことができます。その場に適した集音シーンを選ぶことで、目的の音が聞こえやすくなります。

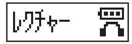
・インサイドホンを接続しておく。（P16、左記）

❶ 停止中に［▶/■ OK］を約 1 秒以上押したままにする

音量が 17 以上の状態で集音機能を起動した場合、音量は 16 に設定されます。

❷ ⏮、⏭ で集音シーンを選ぶ

（お買い上げ時は“レクチャー”）



❸ ＋、－で音量を調整する

集音シーン	効果と用途
レクチャー	音声帯域を強調し、会話など人の声の聞き取りに適しています。
テレビ	広い周波数帯域で集音します。臨場感あふれるテレビ視聴などに適しています。
パーティー	全方向からの音声を強調して集音します。複数人での歓談などに適しています。
ホール	低・中音域を強調します。発表会など、広い屋内での音声などの聞き取りに適しています。

■集音機能を停止するには

［▶/■ OK］を押す。

● “M”（音楽）フォルダを選んでいるときに集音機能を使うと、フォルダは“A”に切り替わります。
● 録音スイッチを［●］側に動かすと、選択中の集音シーンで強調、調整された音声で録音を開始します。
  ・集音機能を設定する前に選ばれていたフォルダ（“ M”フォルダ選択中は“A”）に録音されます。
  ・録音モード（P9）は「MP3 192 kbps」となります。
  ・録音中に音量を調整しても録音レベルには影響しません。
● ハウリングを防止するため、インサイドホンとマイクを近づけないでください。

共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

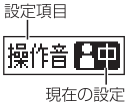
共通設定の設定方法

❶ 停止中に［メニュー］を押す

❷ I◀◀、▶▶I で“共通設定”を選び、[▶/■ OK］で決定する



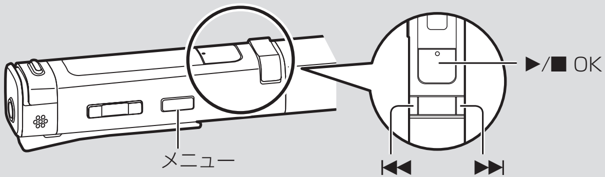
❸ I◀◀、▶▶I で設定項目を選び、[▶/■ OK］で決定する



❹ I◀◀、▶▶I で設定を変更し、[▶/■ OK］で決定する

設定中にひとつ前の画面に戻るには［メニュー］を押す。設定せずに元の画面に戻るには［メニュー］を約 1 秒以上押したままにする。

“時計設定”については、P5 をご覧ください。



操作音設定（音声ガイド）

操作時の操作音を設定します。

操作音 中　（お買い上げ時は“中 ガイド（中）”）

OFF：鳴らさない。
大 中 小 ON：音（ピッ）を鳴らす。
大 中 小 ガイド：音（ピッ）と音声ガイドを鳴らす。

● 音（ピッ）と音声ガイドの音量を“大、中、小”から選択できます。

録音 LED（録音 / 動作表示ランプ）

録音時、録音 / 動作表示ランプを点灯させるかどうかを設定します。

録音LED ON　（お買い上げ時は“ON”）

OFF：点灯させない
ON：点灯させる

● 録音 LED を OFF に設定しても、充電中やファイル編集時などの動作を示すランプとしては点灯（点滅）します。

使用電池

使用する電池の種類（アルカリ乾電池、またはニッケル水素充電式電池）を設定します。

使用電池 Al　（お買い上げ時は“Al アルカリ乾電池”）

Al アルカリ乾電池：アルカリ乾電池を使うとき。
Ni 充電式電池：別売のニッケル水素充電式電池を使うとき。

● 使用電池を“充電式電池”に設定しないと充電できません。
● 設定と異なる種類の電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

オートパワーオフ

停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎます。

オートパワーオフ 15　（お買い上げ時は“15 分”）

OFF：オートパワーオフが働かない。
1 分～ 15 分：指定した時間でオートパワーオフが働く。

バックライト

操作したときのバックライトの点灯時間を設定します。

バックライト 15　（お買い上げ時は“15 秒”）

OFF：点灯しない。
5 秒、15 秒：指定した時間だけ点灯する。
常時 ON：常に点灯する。

● 電池残量が少ないと、バックライトが点灯しない場合があります。

コントラスト

画面のコントラストを調整します。

コントラスト 5　（お買い上げ時は“5”）

表示調整：1（淡）～ 10（濃）

フォーマット

内蔵メモリーの全ファイルを完全に消去し、フォルダ構成をお買い上げ時の状態に復元します。

フォーマット

実行：フォーマットを行います。
取消：操作を中止します。

● フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
● フォーマット中は、取り消しができません。
● フォーマット中は、電池を抜かないでください。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。

設定初期化

実行：設定初期化を行います。
取消：操作を中止します。

バージョン

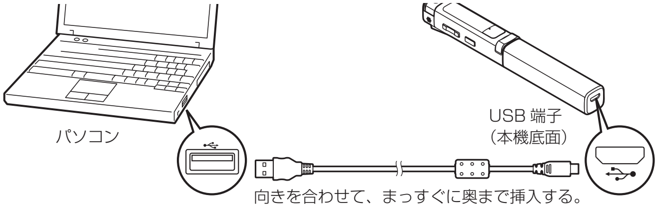
本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンを接続し、内蔵メモリーとパソコンとの間でファイルのコピーや移動をすることができます。
動作環境については、「パソコンの動作環境」（P22）をご覧ください。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

❶ 付属の USB 接続ケーブルで、本機をパソコンに接続する



■本機を取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows 7："　"）をクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外したあとは、自動的に本機の電源が切れます。
パソコン接続中は、本機の操作はできません。
データ転送中は、絶対に本機を取り外さないでください。



- 次の場合は、動作を保証しません。
  - 1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）
  - USB ハブを使用している場合
  - 市販の USB 延長ケーブルを使用している場合
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- USB 接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

充電式電池を充電する

別売の充電式電池をご使用の場合は、本機とパソコンを使って充電することができます。

- パソコンを起動させておく。
- 使用電池の設定を“充電式電池”に切り替えておく。（P18）
- 本機の電源を切っておく。

充電式電池は必ず指定の別売品をお買い求めください。
指定の充電式電池以外は動作保証しておりません。
● かっこ【　】内は、2013 年 8 月現在の品番です。

充電式エボルタ【BK-4LLB/2B】
- 充電式エボルタ【BK-4MLE/2B】も使用できます。

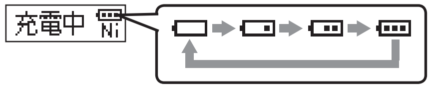
2 本組みのうち、1 本をご使用ください。

❶ 充電式電池（別売）を本機に入れる（P4）

- 付属の電池はアルカリ乾電池です。充電できません。

❷ 付属の USB 接続ケーブルで、本機をパソコンに接続する（左記）

- 録音 / 動作表示ランプが点灯し、充電が始まります。また、本機の表示部に“充電中”が表示され、電池残量表示が下記のように切り替わります。



- 録音 / 動作表示ランプが消灯すると、充電完了です。

充電時間の目安（電池残量が空の状態から満充電まで）

BK-4LLB	約 4 時間
BK-4MLE	約 5 時間

- 使用電池の設定を“充電式電池”にしないと充電できません。（P18）
- “　”が表示された場合は、充電できません。（P24）
- パソコンが休止状態になったり再起動したりしたときは、充電しない場合があります。
- データ転送中は充電を一旦停止し、データ転送完了後に充電を再開します。データ転送した時間分、充電時間が長くなります。
- データ転送中は録音 / 動作表示ランプが消灯します。
- 電池残量を使い切らなくても、継ぎ足し充電が可能です。
- 充電中、本機や充電式電池が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい指定の充電式電池（上記）をお買い求めください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。（P29）

ファイルをパソコンに取り込む / 整理する

表示は Windows 7（OS）の場合です。

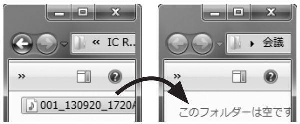
・本機をパソコンに接続しておく。（P20）

❶ パソコン側の“コンピューター”を開く

本機の内蔵メモリーが下記の名前で表示されます。
内蔵メモリー：IC RECORDER

❷ 内蔵メモリーを開き、フォルダやファイルをパソコンにコピーまたは移動する

本機のフォルダ　パソコンのフォルダ



- Windows 7 の場合、“フォルダ”は“フォルダー”と表示されます。
- 本機のフォルダはパソコンでは以下のように表示されます。
  - ・“A、B、C、D、E”（録音用）フォルダは MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、MIC_E
  - ・“M”（音楽用）フォルダは MUSIC
- **パソコンで、本機をフォーマットしないでください。**
- パソコンの設定によっては、拡張子が“.INX”のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで削除するとインデックス情報は消去されます。
- PCM 録音ファイルの場合、パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、“WAV”になります。
- “DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。本機の画面には表示されません。

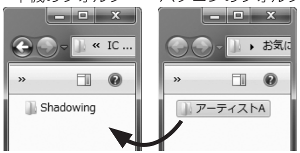
本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。本機で再生できる音楽ファイルは MP3 または PCM（WAV）※ファイルです。
※ 本機で録音した PCM（WAV）ファイルのみ。

・本機をパソコンに接続しておく。（P20）

❶ “MUSIC”フォルダに、パソコンのフォルダやファイルをコピーする

本機のフォルダ　パソコンのフォルダ



本機では、1つのフォルダにつき 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。

- **データ転送中は、絶対に本機を取り外さないでください。**
  ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- “MUSIC”フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については「本機のフォルダ構造」（P22）をご覧ください。
- 音楽ファイルは、“MUSIC”以外のフォルダに転送しても再生できません。
- 内蔵メモリーの直下に転送したファイルは再生できません。“MUSIC”フォルダに転送してください。

■“MUSIC”フォルダ内のファイル名と再生順序

“MUSIC”フォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さな順に再生します。数字は 3 桁まで判別することができます。1、01、001 のように桁数が違う場合、再生順は 001 ～ 999、01 ～ 99、1 ～ 9 となります。001 音楽 A.MP3、002 音楽 B.MP3 のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。再生については「本機で音楽を聴く（MP3 音楽ファイル）」（P16）をご覧ください。

ファイル名について

■本機で録音したファイル名の付き方

例：2013 年 9 月 20 日 17 時 20 分 /A フォルダ /MP3 録音の場合

001_130920_1720A0.MP3
①　②　③ ④ ⑤
“_”（半角）　“0”

① ファイル番号（001 ～ 199）
② 録音日付（半角数字 6 文字）
③ 録音時刻（半角数字 4 文字）
④ フォルダ名（A ～ E）
⑤ 拡張子（.MP3/.WAV）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では ① の“001_”は表示されません。

■ファイル消去 / 分割によるファイル名の自動変更

本機内の録音ファイルを消去や分割すると、ファイルが前詰めされたり後ろにずれたりし、ファイル番号は自動的に再割り当てされます。

■パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻す

ファイル名をパソコンで変更すると、“MUSIC”フォルダに入っていないファイルは再生できなくなります。上記の「本機で録音したファイル名の付き方」に従った名前に変更するか、“MUSIC”フォルダに入れて再生してください。
ただし、ファイル消去などでファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複すると本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、“MUSIC”フォルダに転送して再生することをおすすめします。（左記）

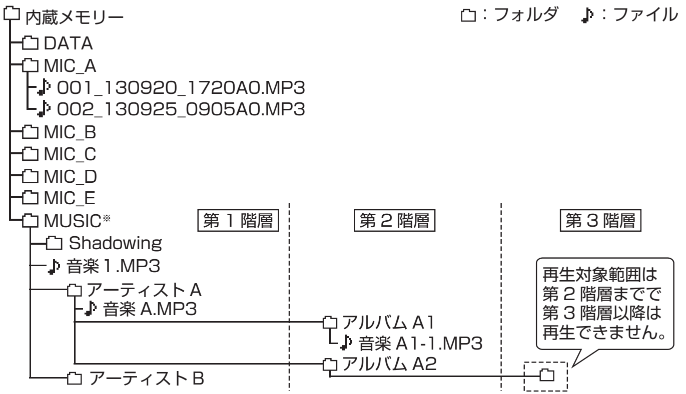
ファイル名について（続き）

フォルダ名を変更しないでください

本機で作成された“MIC_A”などのフォルダ名をパソコンで変更すると、本機の電源を入れた時点で、新たに“MIC_A”などのフォルダが作成されます。

- 名前を変更したフォルダ内のファイルは、再生できなくなります。名前を変更したフォルダ内のファイルを再生するには、“MUSIC”フォルダに転送してください。
- 録音した場合は、新たに作成されたフォルダにファイルが保存されます。ファイル番号は 001 から開始します。

本機のフォルダ構造



※ “MUSIC”フォルダは、MP3 音楽ファイルなどをパソコンから転送する場合に使用します。サブフォルダを作成できます。上図は構成例です。

パソコンの動作環境

（2013 年 8 月現在）

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応OS	プリインストールされた各日本語版 • Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional および Service Pack 2、3 • Microsoft® Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および Service Pack 1、2 • Microsoft® Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate および Service Pack 1 • Microsoft® Windows® 8/Pro • Microsoft® Windows® RT
対応OS	• Mac OS X 10.2.8 － 10.8
インターフェース	USB 端子（USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Player に関する詳細は Microsoft 社にお問い合わせください。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	• MP3 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、“MUSIC”フォルダに転送する（P21）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
マンガン電池は使えますか？	• マンガン電池、ニカド電池は使用できません。（P4）

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
NO FILE	• フォルダ内にファイルがないときに再生や時間サーチ（P12）、ファイル編集などをしようとしました。 • “M”（音楽）フォルダに音楽ファイルがありません。 処置 ファイルのあるフォルダに切り替えてください。“M”（音楽）フォルダの場合は音楽ファイルを転送してください。（P21）
メモリーエラー	• 本機でフォーマットしてください。（P19）それでも改善しない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。 処置 お買い上げの販売店にご相談ください。
メモリーフル	• 内蔵メモリーに空き容量がない状態で録音しようとしました。 • 必要な空き容量がない状態でファイル分割しようとしました。 処置 不要なファイルを消去してください。（P7）
ファイルフル	• 各フォルダの録音可能なファイル数（199）を超えて録音しようとしました。（P5） • フォルダ内のファイル数が最大（199）になっているため、ファイル分割できません。 処置 不要なファイルを消去してください。（P7）
インデックスフル	• 1 ファイルのインデックス最大数（36）を超えてインデックスを付けようとしました。（P11） 処置 不要なインデックスを消去してください。（P11）
電池切れ	• 電池切れです。 処置 電池を交換するか、充電式電池の場合は充電してください。（P4、P20）

表示	ここをご確認ください
インデックスエラー	• インデックスを付けられない位置です。 処置 ファイルの先頭や終端、他のインデックスとの間隔を 2 秒以上あけて、インデックスを付けてください。（P11） • インデックスのないファイルでインデックスを消去しようとしました。（P11） • 停止位置より前にインデックスがない場合にインデックス 1 件消去をしようとしました。（P11）
録音エラー	• 断片化※により一時的に書き込み速度が遅くなっている内蔵メモリーを使用して録音を行った場合に表示されることがあります。 処置 録音モードを MP3 に変更すると改善される場合があります。断片化を改善するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機で内蔵メモリーをフォーマットしてください。（P19） ※ ファイルの書き込みと削除を繰り返し行うとメモリー内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります。（断片化といいます。）断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。
分割エラー	• 録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとしました。 • ファイル分割できない位置（ファイルの先頭や末尾付近）で分割しようとしました。（P15） • “M”（音楽）フォルダ内のファイルを分割しようとしました。録音用フォルダを選んでください。（P15）
フォーマットエラー	• 内蔵メモリーが壊れている可能性があります。 処置 お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

●電池

こんなときは	ここをご確認ください
他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	・本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。 ・オートパワーオフ機能（停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P19） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
充電しても再生時間が極端に短い	・充電式電池の寿命です。新しい指定の充電式電池（別売品）に交換してください。（P20）
充電すると“”が表示される **充電できない** （表示されるまで数分かかることがあります。）	・本機の温度が上がっています。本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから充電し直してください。 ・単 4 形アルカリ乾電池や指定外の充電式電池を充電しようとしていませんか？指定の充電式電池（別売品）を入れて充電してください。（P4、20） ・充電式電池の ⊕ と ⊖ の向きが逆になっていませんか？向きを確認して入れ直してください。（P4）
充電できない	・使用電池の設定がアルカリ乾電池になっていませんか？設定を充電式電池に切り替えてから充電してください。（P18）

●操作

こんなときは	ここをご確認ください
本機が動作しない	・電池が消耗していませんか？単 4 形アルカリ乾電池をご使用の場合は、新しい電池に交換してください。指定の充電式電池（別売品）をお使いの場合は、充電してください。（P4、20）
操作ができない	・ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください。（P4） ・パソコン接続時は本機では操作できません。

●録音

こんなときは	ここをご確認ください
メモリー容量を使い切るのが早い	・録音モードによって録音時間（P28）は大きく変わります。ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。（P9） ・データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。
録音が勝手に一時停止する	・VOS が働いていませんか？（P10）
録音時にインサイドホンで音声を聞くと、「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。（P17） ・インサイドホンと本機を離してください。
録音内容が途中までしか録れていない	・録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 ・メモリーを使い切っていませんか？
録音したファイルに音とびが発生する	・パソコンで本機の内蔵メモリーをフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P19） ・VOS が働いていませんか？（P10）

●録音（続き）

こんなときは	ここをご確認ください
録音した音声にガサガサと雑音が入る	• 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度設定を“低”にするか（P9）、または録音音源からの距離を遠ざけてください。それでも音割れする場合は、ローカットフィルタ設定を ON にしてください。（P9）
録音した音声に雑音がまざって聞き取りにくい	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 • ローカットフィルタを ON にしてください。雑音が減り、聞き取りやすくなる場合があります。（P9） • 録音モード（P9）やマイク感度（P9）を切り替えてみてください。
録音した音声が実際と異なる	• ローカットフィルタ（P9）が設定されていませんか？
録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	• マイク感度を切り替えてみてください。（P9）

●再生

こんなときは	ここをご確認ください
スピーカーから音が出ない	• インサイドホンを接続していませんか？（P17）
音声が聞こえない	• 音量を調整してください。（P7）

●再生（続き）

こんなときは	ここをご確認ください
フォルダ内（A、B、C、D、E）のファイルが再生できない	• パソコンでファイル名を変更していませんか？ A、B、C、D、E フォルダ内では「本機で録音したファイル名の付き方」（P21）に従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。“M”（音楽）フォルダに転送すると再生できます。（P21） • 転送先が異なっていませんか？パソコンからファイル転送する際、録音用フォルダに入れても、本機で再生できません。“M”（音楽）フォルダに転送してください。（P21）
“M”（音楽）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	• 本機では MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。WMA、AAC など、その他のファイルは再生できません。 • MUSIC フォルダでは、１つのフォルダにつき最大 199 ファイルまで認識して再生できます。サブフォルダを作成している場合は、その数だけ認識できるファイル数が減ります。それを超えて転送されたファイルは再生されません。 • MUSIC フォルダの再生対象範囲は、第 2 階層までで第 3 階層以降は再生できません。（P22） • 著作権保護されているファイルは再生できません。（P16）
再生速度が速かったり、遅かったりする	• 再生速度を変更していませんか？（P14）
インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。
選択ファイルが勝手に変わる	• パソコンに接続して本機のファイルを削除すると本機での選択ファイルが変わる場合があります。

●集音機能

こんなときは	ここをご確認ください
「ピー」という雑音が混じる	・音量を下げてください。（P17） ・インサイドホンと本機を離してください。（P17）
インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	・プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ ・プラグが汚れていませんか？プラグをきれいにふいてください。

●その他

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない	・電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P4）充電式電池をお使いの場合は、充電してください。（P20）
電源が切れない	・録音中や再生中ではありませんか？録音中や再生中に電源を切るとホールドになります。停止したあとに電源を切ってください。（P4）
電源が勝手に切れる	・オートパワーオフ機能（停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P19） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
ファイル、フォルダが消去できない	・パソコンから転送した MP3 音楽ファイルが読み取り専用の場合や、“M”（音楽）フォルダのサブフォルダは、本機では消去できません。パソコンで削除してください。（P20）
ファイル分割ができない	・メモリーの空き容量はありますか？ ・フォルダ内に録音可能なファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 ・ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。 ・ファイルを分割したい位置まで再生後、[▶/■ OK] を押してから分割してください。（P15）

●その他（続き）

こんなときは	ここをご確認ください
パソコンに接続しても、本機を認識しない	・パソコンと本機を正しく接続してください。（P20） ・パソコンから本機を取り外し、再接続してください。 ・接続されているほかの USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。パソコンに USB 端子が複数ある場合は、別の USB 端子に接続してください。 ・USB ハブを経由して接続していませんか？ハブを取り外してパソコンの USB 端子に接続してください。 ・パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P22） ・ネットワークドライブが割り当てられていませんか？ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名のアルファベット）がぶつかり、本機のドライブ名が見えない場合がありますので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから接続し直してください。
録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	・時計を合わせてください。（P5）
日時が正しく表示されない	・電池を抜いた、または電池切れになってから長い間放置していませんか？ 時計設定（日時）を設定し直してください。（P5）

仕様

電源	乾電池（付属）	DC 1.5 V （単４形アルカリ乾電池 × 1 本使用）
	充電式電池（別売）	DC 1.2 V （ニッケル水素充電式電池 BK-4LLB × 1 本使用） USB 充電（充電時間 : 約 4 時間）

音声	サンプリング周波数 （[ ] 内は録音モード）	44.1 kHz［PCM 44.1 kHz］ 44.1 kHz［MP3 192 kbps］ 44.1 kHz［MP3 128 kbps］ 16 kHz［MP3 32 kbps］モノラル 8 kHz［MP3 8 kbps］モノラル
	録音方式	リニア PCM（16 bit）/ MP3
	再生可能ビットレート※1	8 kbps ～ 320 kbps（MP3）
	再生可能サンプリング周波数※1	8 kHz ～ 48 kHz（MP3）
	内蔵マイク S/N 比	40 dB（PCM 44.1 kHz）、フィルター（JIS A）
	周波数特性（－10 dB、録音 / 再生時） （[ ] 内は録音モード）	100 Hz ～ 21,000 Hz［PCM 44.1 kHz］ 100 Hz ～ 19,000 Hz［MP3 192 kbps］ 100 Hz ～ 17,000 Hz［MP3 128 kbps］ 100 Hz ～ 6,500 Hz［MP3 32 kbps］ 100 Hz ～ 3,300 Hz［MP3 8 kbps］

USB		USB2.0（Hi-Speed）
音声出力	ヘッドホン端子	φ 3.5 mm、推奨インピーダンス 16 Ω、 2.5 mW + 2.5 mW（JEITA）
	スピーカー出力	φ 10 mm、8 Ω、90 mW（JEITA）
使用温度範囲		0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲		20% RH ～ 80% RH（結露なきこと）
充電可能温度範囲		5 ℃～ 35 ℃

最大外形寸法	16.0（W）mm × 126.5（H）mm × 19.8（D）mm（JEITA）
本体寸法	14.8（W）mm × 126（H）mm × 14.8（D）mm
質量	約 33 g（乾電池を含む）/ 約 22 g（乾電池を含まず）

電池持続時間（使用条件によっては短くなる場合があります。）

	録音モード	アルカリ乾電池※2	充電式電池※3
録音時※4	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 28 時間	約 18 時間
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 37 時間 30 分	約 23 時間 30 分
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 40 時間	約 25 時間
	MP3 32 kbps （モノラル）	約 55 時間	約 36 時間 30 分
	MP3 8 kbps （モノラル）	約 59 時間 30 分	約 33 時間
スピーカー再生時※5	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 14 時間	約 9 時間
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 18 時間	約 12 時間
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 18 時間 30 分	約 12 時間
	MP3 32 kbps （モノラル）	約 24 時間 30 分	約 13 時間
	MP3 8 kbps （モノラル）	約 20 時間	約 11 時間 30 分
インサイドホン再生時※6※7	PCM 44.1 kHz（ステレオ）	約 16 時間 30 分	約 10 時間 30 分
	MP3 192 kbps（ステレオ）	約 22 時間 30 分	約 14 時間 30 分
	MP3 128 kbps（ステレオ）	約 24 時間	約 15 時間 30 分
	MP3 32 kbps （モノラル）	約 28 時間 30 分	約 18 時間 30 分
	MP3 8 kbps （モノラル）	約 25 時間 30 分	約 16 時間 30 分

※1 “M”（音楽）フォルダ
※2 パナソニック単４形アルカリ乾電池を使用
※3 充電式電池 BK-4LLB を使用
※4 録音モニター無し、録音 / 動作表示ランプ OFF、音質効果 OFF
※5 音量 9、音質効果 OFF、再生速度 1 倍速（100%）、当社試験法による測定です。
※6 音量 14、音質効果 OFF、再生速度 1 倍速（100%）、JEITA 規格による測定です。
※7 インサイドホン（推奨インピーダンス 16 Ω）の再生時間は目安です。

仕様（続き）

内蔵メモリー容量（内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。）

記録容量（メモリー容量）	4 GB

録音時間の目安（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM 44.1 kHz （ステレオ）	約 6 時間	1411 kbps
MP3 192 kbps（ステレオ）	約 44 時間 30 分	192 kbps
MP3 128 kbps（ステレオ）	約 66 時間 30 分	128 kbps
MP3 32 kbps （モノラル）	約 267 時間	32 kbps
MP3 8 kbps （モノラル）	約 1069 時間	8 kbps

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

シャドーイングを体験するには

シャドーイングを使った学習を体験するための練習用コンテンツ一式を、本機の内蔵メモリー内に用意しています。**練習用コンテンツは“MUSIC”フォルダ内の“Shadowing”フォルダに入っています。**フォルダの選択については P5 を、シャドーイング再生については P14 をご覧ください。
お買い上げ時の設定では、“音楽用 M”フォルダから“Shadowing”フォルダを選択すると、1 曲目から練習用コンテンツの MP3 ファイルを再生できます。また、練習用コンテンツにある PDF ファイルをご覧いただくと、より効果的にシャドーイングを使った学習を体験できます。

■練習用コンテンツ一式について

保存場所	IC RECORDER(E):\MUSIC\Shadowing （“E”はお使いの環境によって異なります）	
内容	MP3 ファイル	シャドーイングについての音声解説と、難易度別の練習用コンテンツ 6 種類（英語音声）が収録されています。
	PDF ファイル	MP3 ファイルの音声内容をテキストでお読みいただけます。パソコンでご覧ください。

■PDF ファイルを開くには

① 本機をパソコンに接続する（P20）
　パソコンの動作環境については P22 をご覧ください。
② パソコンで本機“IC RECORDER”の“MUSIC”フォルダを開く
③“Shadowing”フォルダ内の PDF ファイルを開く

■PDF ファイルが開かないときは

PDF ファイルを閲覧･印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。
お使いのパソコンにインストールされていない場合は、Adobe Reader を下記のサイトからダウンロードできます。
http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/

■練習用コンテンツ一式を消去したいときは

パソコンで削除してください。
本機で消去する場合は、MP3 ファイルのみ消去できます。

■練習用コンテンツ一式を復元したいときは

本機の内蔵メモリーをお買い上げ時の状態に戻す（フォーマットする）ことで、練習用コンテンツ一式を復元することができます。（P19）
フォーマットする前に、必要なファイルはパソコンに保存してください。

当社サイトでも、シャドーイングについて紹介しています。
http://panasonic.jp/icrec/

お手入れ

■本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えないでください。**
  本機の傷付きや破損につながります。
  インサイドホンと本機は別々にして収納してください。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

■本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

内蔵メモリーのデータは、本機やパソコンで「消去」や「フォーマット」を行うと再生できなくなりますが、完全には消去されません。
セキュリティのため完全に消去したい場合は、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使うか、フォーマットしたあと、情報が残らないように録音残り時間がなくなるまで録音してください。

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み充電式電池の届け先：
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
・ホームページ　http://www.jbrc.net/hp

充電式
ニッケル
水素電池使用
Ni-MH

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

安全上のご注意（続き）

⚠ 危険

充電式電池は、はんだ付け・分解・改造したり、火の中へ投入・加熱はしない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

充電式電池は、本機または指定電池用の充電器で充電する

指定外の機器で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

●充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **本体が破損した**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

単４形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で、ステレオインサイドホンを使わない

事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

分解禁止

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビ等の近くに置かないでください。

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

保証とアフターサービス　よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話（　　　）　　－
お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P23 ～ 26）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	IC レコーダー
●品　番	RR-XP007
●故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**
  保証期間 : お買い上げ日から本体 1 年間
- **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※**補修用性能部品の保有期間** 6 年
当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル（携帯･PHS OK） **0120-878-365**（パナは 365日）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合　06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan　**Tokyo** (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル（携帯･PHS OK） **0120-878-554**（パナは イイヨ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

・有料で宅配便による引取･配送サービスも承っております。

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話番号	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区	青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
	鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0513

さくいん

メニュー一覧

● メニューの内容については各ページをご覧ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 (ホ) 電池や、消耗または摩耗した部品交換の場合
 (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 (ト) 本書のご添付がない場合
 (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (リ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

ICレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番		RR-XP007
保証期間		お買い上げ日から **本体 1年間**
※ お買い上げ日		年　　月　　日
※ お客様	ご住所	
	お名前	様
	電　話（　　　　）　―	
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　　　　）　―	

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

放送や CD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

パナソニック株式会社　ホームエンターテインメント事業部
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号